

令和5年度事業報告書

はじめに

令和5年度は変化の多い一年でありました。新型コロナウイルス感染症の移置づけがこれまでの「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」に移行し、これにより法律に基づく外出自粛などの要請はなくなり、マスク着用などの感染対策は個人や事業者の判断が基本となりました。これまで自粛要請されていたイベントの復活や国内外への旅行者の増加等及びインバウンド需要は順調に回復し景気を押し上げました。こうした中、我が国の経済を取り巻く環境は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷、金融引き締めにもかかわらず、堅調な米国経済がもたらす大幅な円安の進行もあり日本の物価高騰の波も引き続き、着地点が見えづらい状況になっており、今後も注視していかなければなりません。

こうした状況の中、我が公益社団法人沼田市シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員の高齢化も踏まえ、新型コロナウイルス感染症の動向にも留意しながら、高齢者の多様なニーズに応じた雇用・就業機会の確保に努める為、沼田市行政当局を始めとする関係当局のご支援・ご協力や、各種団体様及び発注者様・地域の皆様のご理解・ご協力をいただき会員・役職員が共に力を合わせて地域社会に密着し、更なる高齢者への受け皿としての機能を果たし「社会の支えて」として実践できるよう事業運営に努めてまいりました。

又、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した事から、サークル活動や蕎麦打ち試食会・スマートフォン講習会等など、活動を開始いたしました。

事業概況においては、正会員数が468名で19名（4.1%）の増、受託事業配分金が、1億6,845万円で465万円（2.8%）の増、派遣事業収益が171万円で94万円

（55.2%）の増、新総合事業においては、47万円で4千円（1.0%）の増でありました。

次に基本方針に基づく実施事項について、報告いたします。

1. 会員の拡大活動の推進

「シルバーぬまた」を発行し全世帯に配布し周知を図り、入会案内ポスターの掲示や年12回の入会説明会や定期の説明会に来られない人の為に個別での臨時入会説明会を数多く開催し、より多くの高齢者がシルバーへ入会できるよう入会促進に努めてまいりました。サークル活動も新型コロナウイルス感染症に留意しながら活動し、より多くの高齢者に周知し努めてまいりました。デジタル化を進めるに際しスマートフォン講習会の開催や、ホームページにおいても随時情報を更新し周知に努めてまいりました。

2. 就業開拓提供事業の推進

地域社会に密着した様々なニーズに応えるべく多様な就業機会を、公共団体様・民間事業所様・一般家庭様等から引き受け、事業を推進してまいりました。又、新総合事業への積極的な参加や人手不足分野への就業に努めてまいりました。

3. 安全適正就業事業の推進

安全適正就業優良センターとして令和5年度も受賞し4年連続にて県連合会より表彰を受けました。今後も表彰を継続して受賞できるよう、各就業現場への巡回指導を続けてまいります。

令和5年度においても職員による各現場への巡回指導を続け、更には会員が使用する器具の点検・交換・修理等を通して、会員の就業に対する安全意識の高揚を図り、新型コロナウイルス感染症にも留意しながら、会員が安心・安全に楽しく就業出来るよう努めてまいりました。適正就業におきましても「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った事業運営に努めてまいりました。

4. 高齢者活用現役世代サポート事業の推進

「シルバーぬまた」を発行し全世帯に配布して紙面にて周知を図り、又 デジタル面にてホームページからの多方面への周知や、ホームページからの就業が依頼出来るweb受注も行ってまいりました。派遣事業の拡充の為、企業様への訪問を通し新規の契約獲得に努めてまいりました。